

**【大会特別規則】****第1条 (スプリント)**

- (1)予選上位8人による1/4 決勝から開始する。
- (2)1/4 決勝は1回戦制とする。
- (3)トラック2周で行う。

**第2条 (ケイリン)**

- (1)400mのトラック4周で行う。
- (2)ペーサーは残り2周回のホーム側中央線で離脱する。
- (3)1回戦の各組2位までが1/2決勝へ進み、3位以下は敗者復活戦に進む。
- (4)敗者復活戦は2組で行い各組上位3名が1/2決勝へ進む。
- (5)1/2決勝の各組上位3名が決勝へ進む。
- (6)7-12位決定戦は行わない。

**第3条 (タイムトライアル、個人追抜競走)**

- (1)ホーム、バックの中央線からの2名による同時スタートとする。
- (2)スタートリストに記載のH/Bはフィニッシュ位置を示す。**ただし女子タイムトライアルにおいてはホーム単走とする。**
- (3)タイムレースによる一発決勝とし、追抜きがあった場合でも両者完走し、タイムを計時する。
- (4)相手競技者に追い抜かれた競技者はその直後を追走することができない。また再度追い抜きをすることもできない。その場合は失格となる。

**第4条 (チーム・スプリント、チーム・パーシュート)**

- (1)**チーム・スプリント**はホーム、バックの中央線から2チームによる同時スタートとする。
- (2)**チーム・パーシュート**は**ホーム単走とする。**
- (3)女子チーム・スプリントは、ホームの中央線から、単走とする。
- (4)タイムレースによる一発決勝とする。
- (5)出走選手リストを当該競技開始1時間前までに書面で招集に提出する事。
- (6)女子チームスプリントは2名でチームを構成する。

**第5条 (ポイント・レース)**

- (1)30km(周回数75) スプリント数15回で行う。
- (2)認められる事故が起きた場合のニュートリゼーションは3周回まで与えられる。
- (3)ニュートリゼーション中にレースが最後の1km(最終2.5周回)に入った場合は、競走に復帰できない。

**第6条 (スクラッチ)**

- (1)男子は10km、女子は6kmで決勝を行う。
- (2)認められる事故が起きた場合のニュートリゼーションは3周回まで与えられる。
- (3)ニュートリゼーション中にレースが最後の1km(最終2.5周回)に入った場合は、競走に復帰できない。

**第7条 (オムニアム)**

- (1)2020年UCI規則を適用し実施する。
- (2)スタート位置は各ラウンドのスタートリストに示された位置とし、内側の競技者はホルダーによって支えられる。
- (3)自ら棄権した競技者はDNFとして次の種目への出場はできない。
- (4)スクラッチ・レースとテンポ・レースにおいて、2周回追い抜かれた競技者は除外され40ポイント減算のペナルティが与えられる。
- (5)エリミネーションは1周回の競技外周回を経た正式スタートののち、毎周回除外を行う。  
**残った2競技者に対し、ベルが鳴らされた後の次の周回におけるフィニッシュラインを通過した順で着順を判定する。**

**【大会特別規則】****第8条（バイク・インスペクション）**

- (1)出走10分前までに招集にて、バイクの検査を受けること。
- (2)2020年JCF競技規則に従い、ジュニアのギア比は制限しない。

**第9条（セレモニー）**

- (1)表彰式には、公式な服装で臨まなければならない。  
公式な服装は競技用の装備またはチームウェアで、サングラス・帽子は着用しないこと。
- (2)新型コロナウイルス感染症対策の観点から、対象者の登壇および写真撮影のみとする。

**第10条（その他）**

- (1)タイムレースにおいては、競技中各チーム1名までコーチとしてトラック内の立ち入りを認める。
- (2)撮影許可を受けていない者のトラック内での撮影は禁止する。
- (3)次発走の選手は発走準備を整えスタート付近に待機すること。
- (4)スターティングマシンを使用するスタートでは、50秒のカウントダウンを行う。
- (5)フィニッシュした選手は速やかにトラックから離れ、インフィールドに退避すること。
- (6)スプリント、ケイリンの競技者、およびスクラッチ、ポイントレース、オムニウムで走路内側よりスタートする競技者のホルダーはチームで供出すること。

以上

レースディレクター 岡本昌明  
チーフコミッサー 炭電純一